



向井ちひろ市議会通信No.43

皆さまから寄せられた声に取り組んでいます

*デマンドバス「のり～な」が市内西部地区にも広げられたので、買い物など行きたいお店やかかりつけの病院まで利用したいのですが、手続きの方法がよくわかりません。どうしたらよいのでしょうか？（高齢者）

→「のり～な」を利用するためには、初回予約時に会員登録を行います。配車予約は、電話または専用アプリやLINEでも受け付けています。運行エリアは東部だけでなく西部にも拡大しています。「のり～な」乗車ガイドをご活用ください。（創造都市課）

※「のり～な」に関しては、「とても助かっている」「免許返納しても安心できる」など、よこびの声がある反面、「自分の行きたい所まで行けない」などのご意見も頂いています。制度上の規制はありますが、市民の皆さまの暮らしを支え、より良く活用して頂けるように取り組んでいきたいです。

*ある母親は乳幼児3人を育てていますが、年少児の保育園の利用ができず、子育てが大変な状態です。制度では無理があることはわかりますが、困っている親に寄りそい保育環境を整えてほしいです。（福祉関係者）

→保育園、こども園は、保護者の就労などの状況により保育の必要があるかどうかを判断します。ただし、1号認定の4、5歳児は、就労などに関係なく利用できます。また子ども一時預かり“かんがるー”（社協）は、就労などに関係なく利用できます。（教育委員会）

※現在、丹波篠山市では待機児童は0人ですが、保留児童は81人（4月1日現在）になっています。来年度から始まる「誰でも通園制度」など、それぞれに寄りそった子育て環境を整えられるよう取り組んでいきます。

*自転車通学する道路に、危険な箇所があるので整備してほしいです。（保護者）

→現場を確認し、必要に応じて整備していきます。（まちづくり部）

*橋の欄干が痛んでいますが、修繕してもらえないのでしょうか。（自治会長）

→市内の約800箇所には橋があり、必要な箇所から修繕しています。（まちづくり部）

*皆さまから寄せられた声は、市の制度につなげたり、制度がない場合は調査研究し、政策提言をしていきます。お気軽に思いをお聞かせください。→



視察・研修等

- ・創造都市政策セミナーin 高松市、芸術士派遣事業 視察（高松市）
- ・近畿市議会議長会 視察（東広島市、福山市）
- ・ふりすく丹波講演会
「スイングバイ」17年間のひきこもりを体験して今伝えられること（丹波市）
- ・ひょうごヒューマンライツ議員の会学習会
「孤独・孤立対策官民プラットフォームの取組み」（神戸市）

地域での催し等に出席しました

・ひょうごラジオカレッジ地方スクーリング 丹波篠山国際博記念大会	・西脇市制20周年記念式典
・バラエティスポーツフェスタ in 城東 2025	・城東味まつり
・丹波篠山クラフトウィーク	・のほほん二人展
・城東こども園（仮称）あり方検討会	・デマンドバス「のり～な」新エリア運行開始出発式
・篠山東中学校文化祭	・障がい者スポーツフェスティバル
・丹波篠山市職員労働組合定期大会	・文化の祭典 城東会場
・丹波篠山市功労者表彰式	・ハ上マルシェ
・城東小学校学習発表会	・福住祭
・ももの木寺子屋カフェ	・丹波木綿物語～機神様とともに～
・丹波同友会例会	・「安全安心な丹波篠山をつくる」市民の集い
・アグリフェスタ	・スマイルささやま ふれあい感謝祭

＊他にも地域や市民団体の集まりに参加し、皆さまのお声を伺っています。

＊ぜひ、小さな集まりにお声かけ頂き、皆さまの思いをお聞かせください。

#向井ちひろ #向井ちひろと千の声 SNSで日々の活動を発信しています。



向井ちひろ（丹波篠山市議会議員 副議長 会派「福祉と教育」）



千の声 No.43

2025年12月発行（偶数月第1土曜発行）

向井ちひろと千の声

丹波篠山市宮ノ前315番地3

☎ 079-555-2625

携帯 090-7550-7596

HP mukaichihiro.org

メール info@mukaichihiro.org

